

# JFA 第 28 回 全日本フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 開催要項

2022 年 11 月 29 日に赤字を修正

1. 主 旨 日本でのフットサルの普及・振興のため、15 歳以上の学生・社会人のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として、本大会を実施する。
2. 名 称 JFA 第 28 回 全日本フットサル選手権大会 北海道代表決定戦
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 一般社団法人札幌地区サッカー協会、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟  
釧路地区サッカー協会、釧路フットサル連盟
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、  
札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市スポーツ協会  
釧路市、釧路市教育委員会、釧路市スポーツ協会、一般財団法人釧路市スポーツ振興財団
6. 協 力 株式会社モルテン
7. 期 日 (1st ステージ) 2022 年 12 月 24 日(土)～ 12 月 25 日(日) 札幌市・江別市  
(2nd ステージ) 2023 年 1 月 7 日(土)～ 1 月 8 日(日) 釧路市
8. 会 場 (1st ステージ) ○札幌市豊平区体育館  
札幌市豊平区月寒東 2 条 20 丁目 4-15 TEL:011-855-0791  
○北海道立野幌総合運動公園総合体育館  
北海道江別市西野幌 481 番地 TEL:011-384-2166  
(2nd ステージ) ○ウインドヒルくしろスーパーアリーナ  
釧路市広里 18 番 大規模運動公園内 TEL:0154-38-9800
9. 参 加 資 格 (1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下、JFAという。))に「フットサル 1 種」または「フットサル 2 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。  
(2) JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は、「フットサル 2 種」のみとし、「フットサル 1 種」年代の選手は適用対象外となる。  
(3) 第 1 項、または第 2 項のチームに所属する 2007 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。  
(4) 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。  
(5) 地区大会を通して、選手は他のチームで参加していないこと。  
(6) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。  
(7) 本大会フットサル登録料(2,000 円)を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
10. 参加チーム及びその数 参加チームは、次の各号により選出された 28 チームとする。  
(1) 北海道フットサルリーグから 11 チーム(2nd ステージからの参加とする。)  
(2) 各地区サッカー協会から 1 チーム  
(3) 開催地の地区サッカー協会から 2 チーム(札幌地区・釧路地区)  
(4) 上記(1)を除き、1 チームは 2nd ステージからの参加とする。抽選にて決定する。  
(5) 不参加地区が生じた場合等により参加チーム数が 28 チームに満たないときは、(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会が決定する。
11. 大会形式 (1) 全てノックアウト方式で行う。  
(2) 3 位決定戦は行わず、準決勝敗退の両チームを 3 位とする。
12. 競技規則 大会実施年度のフットサル競技規則による。

### 13. 競技会規程

- (1) ピッチ:
  - 原則として 40m×20m とする。
  - 使用する体育館の形状により変更する場合がある。
- (2) ボール
  - 試合球:モルテン製 ヴァンタツジョ 4000 フットサル(F9A4000) 4号ボール
- (3) 競技者の数
  - 競技者の数:5名
  - 交代要員の数:9名以内
  - ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内
- (4) チーム役員の数
  - 5名以内(ただし、通訳が試合に登録されている場合は、6名以内とする。)
- (5) ①ユニフォーム
  - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
  - (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
  - (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
  - (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
  - (オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
  - (カ) ユニフォームへの広告表示については、JFA の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
  - (キ) フリーグチームのユニフォームについては、フリーグユニフォーム規定に準じる。
  - (ク) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
  - (ケ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
  - (コ) その他、ユニフォームに関する事項については、JFA のユニフォーム規程に則る。
  - (サ) ユニフォームにゼッケン(張り番)が必要な場合は、ユニフォームと同色の布に番号と同色の番号を付け、必ず全ての面を縫い合わせたものを使用すること。
- ②靴:
  - キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)なお、チーム役員にも適用する。
- ③ビブス:
  - 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

- (6) 試合時間  
30 分間(各 15 分間からなる 2 つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 10 分間(第 1 ピリオド終了から第 2 ピリオド開始まで)とする。
- (7) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
- ① 1st ステージと 2nd ステージにおいて下記②を除き、勝敗が決定しない時は、PK 方式により勝敗を決定する。
  - ② 1st ステージの代表決定戦及び準決勝、決勝戦において、勝敗が決定しない時は、10 分間(各 5 分間からなる 2 つのピリオド)の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とし、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。
- (8) タイムアウトは、全てにおいて適用する。
14. マッチコミッショナー
15. 懲 罰
- (1) マッチコミッショナーを配置する。
  - (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
  - (2) 本大会の予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、地区予選及び 1st ステージ終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
  - (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
  - (4) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。なお、準決勝進出チームの選手が受けた準々決勝までの警告の累積は、準決勝以降に持ち越さない。
  - (5) 前項により出場停止処分を受けたとき、また、本大会の終了時に、警告の累積は消滅する。
  - (6) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。(ただし、JFA 第 28 回全日本フットサル選手権大会出場チームはこの大会で行うこと。)
  - (7) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 又はその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
  - (8) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。委員長は、(公財)北海道サッカー協会フットサル委員長とする。
16. 参加料等
17. 参加申込
- 参加料 44,000 円(消費税込)
- (1) 1 チームあたり 26 名(選手 20 名、役員 6 名)を上限とし、選手は本大会の予選となる地区大会に登録していること。ただし、3 名を上限に本大会の予選となる地区大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第 9 条に定める参加資格を満たしていなければならない。
  - (2) 参加申込は、所定の書式(下記(7)申込先(A)に記載の b~i)を下記(5)の期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。  
※チームは事前に所属地区サッカー協会の申込みアドレスを確認すること。
  - (3) 参加料等は、申込みと同時に申込先(C)へ納入すること。
  - (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を下記(5)の期日までに申込先(B)に送付すること。なお、2022 年度中に提出済みの場合は不要。
  - (5) 申込締切日: 2022 年 12 月 16 日(金)16 時まで厳守とする。
  - (6) 上記(5)申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則として認めない。ただし、新型コロナウイルス感染症対策の必要上、自粛等が発生した場合は、追加・変更を認める。申請については、所定の用紙に必要事項を記入し、期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、

(C)に送付される)。

本条項の追加・変更の手続きの期限は、2022年12月21日(水)16時までとする。

(ただし、新型コロナウイルス感染症防止対策のための検温を大会2週間前から行っていること。)

- (7) 申込先 (A) 所属地区サッカー協会事務局
- b 参加申込書(E-mail)  
※選手及びチームの登録番号を必ず記載のこと。
  - c ユニフォームカラー報告用紙(E-mail)  
※ユニフォーム正副、裏表の写真貼付のこと。
  - f ライブ配信申請用紙、被撮影承諾確認用紙(E-mail)
  - h プライバシーポリシー同意書(E-mail)
  - i 懲罰処分についてのアンケート(E-mail)
- (B) (公財)北海道サッカー協会  
〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41  
北海道フットボールセンター 内  
TEL:011-825-1100 FAX:011-825-1101  
・親権者同意書(郵送) ※チーム対応  
・地区予選結果(E-mail) ※申込先(A)が対応
- (C) (一社)札幌地区サッカー協会  
〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-5  
札幌市中島体育センター内 E-mail:taikai-sfa@sfa-rc.net  
TEL:011-531-7553 FAX:011-531-7553  
・地区予選結果(E-mail) ※申込先(A)が対応  
・参加料 44,000円(消費税込)  
[大会参加料等振込口座]  
北洋銀行 東屯田支店 普通 3535541  
(口座名) 一般社団法人札幌地区サッカー協会  
専務理事 今枝映人(イマエダ アキヒト)
18. 組 合 せ 組み合わせは、(公財)北海道サッカー協会において抽選し決定する。なお、組み合わせ結果は(公財)北海道サッカー協会の公式ホームページにて確認すること。  
<https://www.hfa-dream.or.jp/> (大会情報・フットサル)
19. 帯 同 審 判 本年度については、帯同審判制をとらないこととする。
20. 監 督 会 議 (1) 日 時 2022年12月21日(水) 19時30分から  
(2) 会 場 オンライン会議とする。  
会議用URLは後日チーム連絡責任者宛てに送付する。
21. 開 会 式 開会式は実施しない。
22. 表 彰 及び閉会式 (1) 優勝、準優勝チームには表彰状及びトロフィーを、第3位のチームには表彰状を授与する。なお、優勝チームには(公財)北海道サッカー協会杯を授与して次回までこれを保持する。  
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場にて行う。
23. 負 傷 及 び 事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。  
(2) 参加チームはスポーツ保険又はそれに準じた保険に加入していること。
24. 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感染症対策 (1) 本競技会は、大会期間を通じ、「会場感染対策担当者」および各チームの「感染対策担当者」を設置する。試合前、会場感染対策担当者とは各チームの感染対策担当者でミーティングを実施すること。ガイドラインにおいて、これらの担当者の擁立が不要となった際には、その通りとする。  
(2) 本競技会において、「会場感染対策担当者」は主管地区協会フットサル委員長と会場責

任者が務める。

- (3) 選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・随行者など会場にいる全ての大会関係者は、会場感染対策担当者および各チームの感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
- (4) 本競技会は、感染対策のため無観客で実施する。  
なお、随行者の人数は(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会及び主管協会の判断にて決定する。
- (5) 本競技会実施にあたっては、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版及び「新型コロナウイルス感染対策を踏まえたフットサル活動マニュアル」最新版を遵守し、大会関係者は健康チェックシートを都度会場運営責任者に提出すること。ガイドラインにおいて、健康チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策については、別に定める「競技運営進行・施設利用上の注意点」について、遵守すること。なお、今後の新型コロナウイルス感染症に対する国・道の対応によっては、本大会を中止する場合がある。

## 25. その他

- (1) マッチコーディネーションミーティング(以下、MCMという。)
  - ① キックオフ時刻の80分前にマッチコミッショナー、両チーム代表者、審判員とのMCMを行う。チーム代表者は必ずMCMに出席しなければならない。
  - ② 準決勝においては、JFA認定マッチコミッショナー、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員出席のもと以下について行う。
    - (ア) 選手証のチェックを行う(MCMの際、各チーム持参すること)。
    - (イ) FP及びGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色1枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。
    - (ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。
- (2) メンバー提出用紙  
メンバー提出用紙は、MCM時に提出すること。
- (3) 選手証  
各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。  
※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- (4) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区サッカー協会を通じて電子メールにより(公財)北海道サッカー協会に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。  
なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。
- (5) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。

- (8) 本開催要項に記載のない事項については、(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会にて決定する。
- (9) 優勝のチームには、2023年3月11日から開催されるJFA第28回全日本フットサル選手権大会の参加を義務付ける。ただし、優勝が新型コロナウイルス感染症の影響を事由に出場を辞退した場合は、準優勝のチームを繰り上げて参加を義務付ける。なお、JFAから、チームの交通費、宿泊費の一部が支給される。
- (10) 練習等行動を共にしたエントリー外選手や関係者が、本大会開始前7日以内に下記いずれかの状況となった際には、(公財)北海道サッカー協会事務局に報告すること。(主催者、もしくは主管地区協会は、その状況に応じて当該チームの大会参加の可否について検討する。)
- ① 発熱等の健康異常がおきた場合
  - ② PCR検査や抗原検査で陽性と判定された場合
  - ③ PCR検査の判定を待っている場合
  - ④ 濃厚接触者と判定された場合
- (11) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が新型コロナウイルス感染リスクを鑑みて参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。

以上